

ROTARY SERVING HUMANITY



第2780地区
大磯ロータリークラブ



人類に奉仕するロータリー

2016~2017年度RI会長

ジョン.F.ジャーム

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30~13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 百瀬 恵美子

会長エレクト 新宅 文雄

幹事 井上 浩吉

第2387回

例会

平成28年10月6日 No.9

■司会：大藤 勉

■点鐘：百瀬 恵美子

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム・10月13日：休会・10月16日：地区大会・10月：27日：麻生ガバナー補佐来訪

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2387回	14(12)	7	58.33%	—	—
2385回	15(12)	8	66.67%	—	—

◇欠席者(5名)

宮澤、原、石山、太田、田中さん

◇メイクアップ(0名)

◇おめでとうございます



**結婚記念日：
守屋紀忠さん
(10/3)**

47回目になります。二人とも健康でやっています。お花有り難うございました。

◇出席報告



河本親秀委員

野田さんが怪我(骨折)をされながらも出席頂きました。有り難うございます。先月石山さんも骨折されました。皆さん”2度ある事は3度”にならぬよ

うご注意下さるように(笑)。

◇会長報告

百瀬恵美子会長

天候不順で体調を崩されている方が多いので、ご注意下さい。

1. 特別報告はありませんが今月の例会は今日と27日です。この日

は麻生ガバナー補佐の訪問日になっています。16日(10/13例会振替)の地区大会へ多くの参加をお願いします。プリンスホテルに10:30集合して早くランチして出発します。

2. 4日に嬉しい事が発表されました。大磯町在住の大隅良典さん(東京工業大学名誉教授71才)がノーベル医学/生理学賞を受賞されました。同じ大磯町住民として大変誇らしく、今の世の中あまり良い知らせがないなか、嬉しい知らせです。

新聞評一部抜萃読み上げ：

日本の科学技術史に輝かしい1ページを刻む快挙だ。今年のノーベル医学生理学賞が東京工業大学の大隅

米山月間と地域社会の発展月間

良典栄誉教授に送られる事になった。日本のノーベル賞受賞は3年連続で、1949年に受賞した湯川秀樹氏から25人を数える。このうち16人が21世紀になってからの受賞だ。日本人の研究成果が世界をリードする時代に入ったと言えるのではないか。

大隅氏の受賞理由は、細胞内で不要なたんぱく質を分解、リサイクルする「オートファジー」（自食作用）の仕組みを、分子レベルで解明した事だ。

たんぱく質は、あらゆる生命活動に欠かせない。人間の体内では1日に約300グラムつくられるが、食事からは70～80グラムに過ぎない。足りない分はどうするか。自分の細胞の中にある、壊れたり不要になったたんぱく質を分解し、新たにたんぱく質をつくる材料にしているという。（以下略）

大磯にこんな素晴らしい方がおられて嬉しい。皆でお祝いして行きたいです。

3. 例会後モロキニにて理事会を開催します。

◇幹事報告 井上浩吉幹事

回覧：

1. 地区研修協議会報告書出席者配布
2. 週報：志木RC
3. 例会変更：平塚西RC

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

・百瀬恵美子さん：守屋さん 御結婚記念日おめでとうございます。河本さん 卓話 宜しくおねがいします。

・河本親秀さん：守屋さん 結婚記念日おめでとうございます。卓話-変わるロータリーをやらせて頂きます。うまく行くかどうか？

・守屋紀忠さん：結婚記念日のお花ありがとうございました。

・新宅文雄さん：大磯町民大隅良典東工大栄誉教授「ノーベル生理学・医学賞」受賞おめでとうございます。町民の誇りです。

☆河本親秀さん：

元幹事の原千明さんの次男で、我がクラブに3回卓話に来てくれた原貫太君からメールが参りましたので読み上げます。

うな状況のようです。林さんが米山奨学金で東海大の修士課程を卒業、文部科学省の奨学金で博士課程に進学する予定が、中国人学生数の制限で急にキャ

ンセルされ、途方に暮れていた時(2007年)、クラブ 原貫太君よりのメール

この度、2017年1月から約2ヵ月間、アフリカのウガンダ共和国並びにブルンジ共和国にてインターンシップをする事となりました。先日、認定NPO法人テラ・ルネッサンス <<https://www.terra-r.jp/index.html>>のアフリカ駐在員の方とSkypeで面接を行い、「ぜひ原さんにアフリカまで来てほしい」という有難いお言葉を頂くことが出来ました。

テラ・ルネッサンスがウガンダで運営する元子ども兵の社会復帰施設には今年1月既に訪問しており、先日の大磯ロータリークラブ様の卓話でも「元少女兵へのインタビュー」をお話させて頂きました。そこへ再び足を運び、今度は内部の人間として「子ども兵問題」と向かい合うことになります。その他にも、現地調査やインタビュー取材を行うため、カメラ片手にウガンダ国内や隣国のブルンジを駆け回ることになりそうです。

アメリカ留学(2015年8月～)の直前、大磯ロータリークラブ様で出発前のご挨拶をさせて頂きました。ぜひ今回も(これから足を運ぶ環境が決して生易しいものではない事も考慮し…)出発前に大磯ロータリークラブ様にて、決意表明も併せたご挨拶をさせて頂けないでしょうか。11月中旬～12月中旬は京都の本部事務所にてインターンシップをしているのですが、それ以外で卓話をさせて頂ける候補日があれば、予定の方合わせるように致します。

また、大変恐縮ながら、一点お願いさせて頂きたいことがございます。受け入れ機関であるテラ・ルネッサンスからの一部補助金はあるものの、アフリカ渡航では航空券代含め渡航費もかなりかかります。現在、ICRC(赤十字国際委員会)でのインターンシップと並行して必死にアルバイトをしてはいるのですが、もし可能であれば、「カンパ」という形で結構ですので、大磯ロータリークラブ様もしくは会員の皆様からご支援を募らせて頂くことは出来ないでしょうか。仮にご支援を頂いた場合、卓話を使った帰国後の活動報告や報告書作成といった形で恩返しさせて頂きたいと考えております。

以上、長文になってしまいました。ご検討の方、宜しくお願い申し上げます。

(注：この件理事会に諮りましたが、タイミングが悪く例会で時間が取れず、卓話は遠慮願う事になりました。カンパについては27日の例会にて呼びかける事になりました。)

◇ 卓 話

◆◆◆ ロータリーの変化 ◆◆◆

河本親秀 長期計画委員長



規程審議会コーディネーター小船井修2500地区PDG作成のパワーポイントに基づき、変化するロータリーに我々ほどの様に適応するべきかの話があった。概略を下記します。

ロータリーの110年

- ・ 創始期 = 1905年 - 1930年
組織確立
- ・ 受難期 = 1930 - 1955年
世界大恐慌・世界大戦
- ・ 拡大期 = 1955 - 1980年
青少年活動=RAC、IAC、RAYLA
青少年交換、財団奨学生
- ・ 発展期 = 1980 - 2005年
人道的活動=3Hプログラム、
ポリオ撲滅キャンペーン
- ・ 停滞期 = 2005 - 現在
変革圧力の増大=規程審議会の規制緩和 戦略計画 多様性と柔軟性

1996年会員数125万人到達、以降横ばい、ロータリー先進国は会員減少、後進国は増加。合計は横ばいが続き、RIは危機感を覚え、戦略計画を発動、リーダーシップを発揮し始め、試験的プログラム=例外的導入=を推進、多様性と柔軟性を持ち込もうと企画。今回の規程審議会で例会の回数は月2回以上あればよい、出席の緩和=出席から参加へ転換、会員資格の6項目の削除=職業分類の見直し、入会金の条項を削除するなどを可決した。これらの項目はRI定款、RI細則、RC定款に拘わらず、クラブ細則に規定すればよい事になった。

ポールハリスの言葉：

- ・ 世界は常に変化している
- ・ ロータリーはこの世界と共に変化して成長して行かなければならない
- ・ ロータリーの物語は幾度も書き換えられなければならない

規程審議会から見て我々日本のロータリーの歩むべき道は？

- ・ 従来のロータリーに対する価値観に固執するだけでは衰退の道を歩む事になる。
- ・ 各クラブの裁量権が拡大されるので、クラブ運営の如何により、クラブ間の格差が拡大するかも知れない
- ・ 各クラブの目標の設定、戦略・戦術の策定が重要になってくる。

